

- 第 57 回応用物理学関係連合講演会（東海大学），2010. 3. 17～3. 20
- ◆ 山口達也，梶川浩太郎，“金ナノ微粒子表面の自己組織化単分子膜の光第二次高調波発生の解析”，第 57 回応用物理学関係連合講演会（東海大学），2010. 3. 17～3. 20
 - ◆ 大石健太，梶川浩太郎，“液晶相転移による表面プラズモンの共鳴状態変化でおこる光双安定性”，第 57 回応用物理学関係連合講演会（東海大学），2010. 3. 17～3. 20
 - ◆ 内保裕一，下条雅幸，梶川浩太郎，“金属メタ分子の 2 次の非線形光学効果”，第 57 回応用物理学関係連合講演会（東海大学），2010. 3. 17～3. 20
 - ◆ K. Kajikawa，“Plasmonic Biosensing Platform”，WINP Tech2009（神戸大学），2009. 11. 1～11. 2 招待講演
 - ◆ 田中大輔，鶴澤良平，大川春樹，橋本和彦，梶川浩太郎，“表面プラズモン共鳴を利用した自己組織化単分子膜の光整流”，第 70 回応用物理学学会学術講演会（富山大学），2009. 9. 8～9. 11
 - ◆ Syahir Amir，梶川浩太郎，三原久和，“金属・絶縁体・金属（MIM）構造をセンシング基盤に用いた分子間相互作用の検出”，第 70 回応用物理学学会学術講演会（富山大学），2009. 9. 8～9. 11
 - ◆ 西田知夏、宇都浩文、森内昭博、長谷川将、桶谷 真、井戸章雄、坪内博仁：C 型慢性肝炎合併透析患者の ALT 値と UDCA の効果。第 45 回日本肝臓学会総会。2009 年 6 月（神戸）
 - ◆ 熊谷公太郎、井戸章雄、馬渡誠一、呉 建、玉井 努、森内昭博、長谷川 将、宇都浩文、桶谷 真、田原憲治、堀 剛、藤崎邦夫、黒木和男、重信秀峰、小森園康二、岩満章浩、坪内博仁：3 年以上の核酸アナログ製剤投与例における長期成績。第 93 回日本消化器病学会九州支部例会。2009 年 6 月（福岡市）
 - ◆ 玉井 努、宇都浩文、高見陽一郎、熊谷公太郎、呉 建、馬渡誠一、森内昭博、長谷川 将、桶谷 真、井戸章雄、坪内博仁：HCV 関連慢性肝疾患における血清 MnSOD 濃度の臨床的意義。JDDW（第 13 回日本肝臓学会大会）2009 年 10 月（京都市）
 - ◆ 熊谷公太郎、馬渡誠一、井戸章雄、最勝寺晶子、橋口正史、呉 建、玉井 努、森内昭博、宇都浩文、桶谷 真、田原憲治、堀 剛、藤崎邦夫、黒木和男、重信秀峰、小森園康二、岩満章浩、坪内博仁：3 年以上ラミブジン投与可能であった非代償性 B 型肝硬変における治療後の肝予備能評価。第 94 回日本消化器病学会九州支部例会。2009 年 11 月（熊本市）
 - ◆ 玉井 努、宇都浩文、最勝寺晶子、橋口正史、熊谷公太郎、呉 建、馬渡誠一、森内昭博、桶谷 真、井戸章雄、坪内博仁：C 型慢性肝炎に対する IFN 治療後の肝発癌症例における IFN 治療効果の臨床的意義。第 38 回日本肝臓学会西部会。2009 年 12 月（米子市）
 - ◆ Nishida C, Uto H, Oketani M, Tokunaga K, Nosaki T, Fukumoto M, Oku M, Sogabe A, Moriuchi A, Ido A, Tsubouchi H: Clinical significance of hepatitis C virus infection and the effect of ursodeoxycholic acid in hemodialysis patients. ANS Renal Week 2009. 2009 年 10 月（サンディエゴ、米国）

- ◆ 田中小代里, 張旭, 永友真未, 若尾雅広, 隅田泰生, 酸化鉄を磁性成分に持つ糖鎖固定化磁性ナノ粒子の調製, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 宮原つかさ, 若尾雅広, 隅田泰生, ムチン型糖鎖コア構造に関する合成研究, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 春山まみ, 齊藤彰寛, 横山理沙, 若尾雅広, 隅田泰生, イズロン酸を含むヘパラン硫酸部分二糖構造の合成とシュガーチップへの応用, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 杜若祐平, 若尾雅広, 隅田泰生, デルマタン硫酸部分二糖構造に関する合成研究, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 新地浩之, 中川奨, 若尾雅広, 望月衛子, 上松太郎, 桑畑進, 隅田泰生, ZnS-AgInS₂/ZnS コア/シェル構造を有する糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子の合成と応用, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 松山奈央, 齊藤彰寛, 若尾雅広, 隅田泰生, グルクロン酸を含むヘパラン硫酸部分二糖構造の合成研究, 日本化学会第 91 春季年会, 2011 年 3 月
- ◆ 仮屋博敬, 岩切健二, 新地浩之, 永友真未, 若尾雅弘, 隅田泰生, 一本鎖抗体固定化量子ドットを用いた ATL 細胞の On-site 検査システムの開発, JST 地域間連携事業 ATL (成人 T 細胞白血病・リンパ腫) シンポジウム 2011 in 福岡, 2011 年 2 月 27 日, アクロス福岡, 福岡, ポスター
- ◆ 岩切健二, 仮屋博敬, 山口憂三, 佐藤綾香, 戎義子, 岡田摩耶, 若尾雅広, 隅田泰生, ファイバー型シュガーチップを用いた ATL 細胞表層糖鎖に特異的に結合する一本鎖抗体 (scFv) の探索, JST 地域間連携事業 ATL (成人 T 細胞白血病・リンパ腫) シンポジウム 2011 in 福岡, 2011 年 2 月 27 日, アクロス福岡, 福岡, ポスター
- ◆ 西原祥子, 佐々木紀彦, 平野和己, 隅田泰生, 豊田英尚, 一宮智美, ES 細胞の未分化性・多能性維持, 分化シグナルの拠点となる硫酸化糖鎖, BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫, ワークショップ
- ◆ Masahito Hashimoto, Mami Ozono, Yasuo Suda, Structurer and immunobiological activities of lipopolysaccharide from *Acetobacter pasteurianus*, BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10 日, 兵庫, ポスター
- ◆ 永友真未, 田中小代里, 若尾雅広, 隅田泰生, 蛋白質-糖鎖固定化磁性金ナノ粒子を用いた細胞や微生物の分離・濃縮, BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫, ポスター
- ◆ 田中小代里, 張旭, 馬場昌範, 若尾雅広, 隅田泰生, 糖鎖固定化磁性金ナノ粒子を用いたウシウイルス性下痢症ウイルスの高感度検出, BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10

- 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫, ポスター
- ◆ 張旭, 小林健一郎, 的山央人, 兵藤則行, 若尾雅広, 隅田泰生, 糖鎖固定化金ナノ粒子を用いた鯉ヘルペスウイルスの高感度検出, BMB2010(第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫, ポスター
 - ◆ H. Kariya, Y. Yoshihara, N. Sakura, M. Ueno, M. Hashimoto, Y. Suda, Enhancement of bactericidal activity of phagocyte by carboxymethyl-chitin, BMB2010 (第 33 回日本分子生物学会年会, 第 83 回日本生物化学会大会 合同大会), 2010 年 12 月 7-10 日, 神戸ポートアイランド, 兵庫, ポスター
 - ◆ Y. Suda, High Sensitive Detection of Viruses Based on Their Binding Activities to Sugar-Chains, Japan-Taiwan 3 University Joint Seminar on Nanostructure and Advanced Materials, Nov. 25-26, 2010, Kagoshima, oral
 - ◆ M. Hashimoto, M. Ozono, Y. Suda, Structural study of lipopolysaccharide from acetic acid bacteria, Japan-Taiwan 3 University Joint Seminar on Nanostructure and Advanced Materials, Nov. 25-26, 2010, Kagoshima, poster
 - ◆ Keiko Ono, Hiroyuki Kariya, Kazuki Tawaratsumida, Yasuo Suda, Expression of *Staphylococcus aureus* lipoproteins in various conditions, Japan-Taiwan 3 University Joint Seminar on Nanostructure and Advanced Materials, Nov. 25-26, 2010, Kagoshima, poster
 - ◆ X. Zhang, M. Baba, N. Arima. M. Okamoto, M. Wakao, Y. Suda, Comprehensive Analyses of Sugar-Chain Binding Activity of Viruses Using Array-type Sugar Chip, Japan-Taiwan 3 University Joint Seminar on Nanostructure and Advanced Materials, Nov. 25-26, 2010, Kagoshima, poster
 - ◆ H. Shinchi, M. Wakao, Y. Suda, Preparation and Application of Sugar-Chain Immobilized Fluorescent Nanoparticles Containing CdTe/CdS Core/Shell Structure, Japan-Taiwan 3 University Joint Seminar on Nanostructure and Advanced Materials, Nov. 25-26, 2010, Kagoshima, poster
 - ◆ 小野敬子, 俵積田一樹, 隅田泰生, 橋本雅仁, 黄色ブドウ球菌由来免疫活性化物質に関する研究, 第 16 回日本エンドトキシン・自然免疫研究会, 2010 年 11 月 12-13 日, かしはら万葉ホール, 奈良, 口頭
 - ◆ 田崎堅聖, 上村広志, 若尾雅広, 隅田泰生, ルイス型糖鎖の合成とシュガーチップ化, 2010 年日本化学会西日本大会, 2010 年 11 月 6-7 日, 熊本大学(黒髪キャンパス), 熊本, 口頭
 - ◆ 隅田泰生, 張旭, 青山和枝, 若尾雅広, 森川佐依子, 廣井聡, 加瀬哲男, 斎藤秀, 糖鎖結合性に基づくインフルエンザウイルス株の類型化と予測, 第 58 回日本ウイルス学会学術集会, 2010 年 11 月 7

- ー9日, 徳島市あわぎんホール, 徳島,
ポスター
- ◆ 隅田泰生, 糖鎖化学に基づいた新型インフルエンザ検査法の開発, 第60回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2010年10月30日, 枚方市摂南大学薬学部, 大阪, 特別講演
 - ◆ 隅田泰生, 張旭, 永友真未, 青山和枝, 横山理沙, 田中小代里, 劉文騎, 若尾雅広, 糖鎖固定化ナノ粒子を利用したウイルスの高感度検出, 第4回バイオ関連シンポジウム, 2010年9月25-26日, 豊中市大阪大学豊中キャンパス, 大阪, ポスター
 - ◆ 若尾雅広, 小幡瑠美, 酒見千穂, 杜若祐平, 近藤宇男, 隅田泰生, コンドロイチン硫酸部分構造の合成とタンパク質相互作用解析, 第59回高分子討論会, 2010年9月15-17日, 北海道大学高等教育機能開発総合センター, 北海道, 口頭
 - ◆ 隅田泰生, 糖を使ったナノテクでウイルスを測る, JSTサイエンスカフェみやぎ, 2010年9月8日, 宮日会館, 宮崎, 独立行政法人 科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト宮崎 主催, 招待講演
 - ◆ M. Wakao, R. Obata, C. Sakami, Y. Kakitsubata, T. Kondo, N. Mitsushita, Y. Suda, Synthesis and Application of Chondroitin Sulfate Partial Disaccharide Library, The 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Aug. 1-6, 2010, Tokyo(Chiba), Japan, poster
 - ◆ S. Nishihara, N. Sasaki, T. Hirano, T. Ichimiya, K. Hirano, H. Toyoda, Y. Suda, Functional analysis of sulfated glycans in the differentiation of embryonic stem cells, The 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Aug. 1-6, 2010, Tokyo(Chiba), Japan, oral
 - ◆ 隅田泰生, High sensitive detection of viruses based on their binding activities to sugar-chains, 第49回日本生体医工学会大会, 2010年6月25-27日, 大阪市大阪国際交流センター, 大阪, オーガナイズドセッション
 - ◆ 馬場宏一, 奥野寿臣, 古谷基, 隅田泰生, 超高速PCR装置『UR-104MK IV』の評価, 第51回日本臨床ウイルス学会, 2010年6月19-20日, サンポート高松シンボルタワー, 香川, 口頭
 - ◆ 春山まみ, 大石紘, 齊藤彰寛, 若尾雅広, 隅田泰生, イズロン酸含有ヘパラン硫酸部分二糖構造に関する合成研究, 日本化学会第90回春季年会, 2010年3月26-29日, 東大阪市近畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
 - ◆ 出口弘史, 齊藤彰寛, 馬渡彩, 若尾雅広, 隅田泰生, グルクロン酸-グルコサミン配列を持つヘパラン硫酸部分構造に関する合成研究, 日本化学会第90回春季年会, 2010年3月26-29日, 東大阪市近畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
 - ◆ 馬渡彩, 齊藤彰寛, 出口弘史, 若尾雅広, 隅田泰生, イズロン酸-グルコサミン配列を有するヘパラン硫酸部分二糖構造の合成研究, 日本化学会第90回春季年会, 2010年3月26-29日, 東大阪市近

- 畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
- ◆ 酒見千穂, 杜若祐平, 若尾雅広, 隅田泰生, コンドロイチン硫酸四糖部分構造の合成研究, 日本化学会第 90 回春季年会, 2010 年 3 月 26-29 日, 東大阪市近畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
 - ◆ 若尾雅広, 新地浩之, 隅田泰生, CdTe/CdS コア/シェル構造を有する糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子の合成と応用, 日本化学会第 90 回春季年会, 2010 年 3 月 26-29 日, 東大阪市近畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
 - ◆ 竹内誠, 若尾雅広, 佐坂真一, 荻原亮介, 隅田泰生, 干渉分光バイオセンサーを用いた糖鎖-タンパク質相互作用解析, 日本化学会第 90 回春季年会, 2010 年 3 月 26-29 日, 東大阪市近畿大学本部キャンパス, 大阪, 口頭
 - ◆ M. Hashimoto, Y. Suda, Changes in Expression of Lipoproteins in *Staphylococcus aureus*, 第 83 回日本細菌学会総会, 2010 年 3 月 27-29 日, パシフィコ横浜, 神奈川, ポスター
 - ◆ 小西美紅, 藤川紘樹, 中島慎也, 河村奈緒子, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 新規環状グルコシルセラミド受容体を用いたガングリオシド GalNAc-GM1b の全合成研究, 2A37p05, 2011 年度大会 日本農芸化学会、京都、平成 23 年 3 月 25 日-28 日 (Oral).
 - ◆ 山本直輝, 田中秀則, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 分子イメージングへ向けたシアリルルイス X プローブの合成研究, 3A37a15, 2011 年度大会 日本農芸化学会、京都、平成 23 年 3 月 25 日-28 日 (Oral).
 - ◆ 川瀬貴裕, 山本直輝, 中島慎也, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: メリビオサミンのシアリル化アナログの合成, 3A37a03, 2011 年度大会 日本農芸化学会、京都、平成 23 年 3 月 25 日-28 日 (Oral).
 - ◆ 水野孝星, 玉井秀樹, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 棘皮動物由来ガングリオシド CJP-2 の合成研究, 2A37p04, 2011 年度大会 日本農芸化学会、京都、平成 23 年 3 月 25 日-28 日 (Oral).
 - ◆ 石田秀治: 糖鎖を用いた感染と免疫の制御. 岐阜健康長寿・創薬推進機構第 2 回異分野交流研究会「岐阜発、人類の健康保持と創薬への挑戦」(平成 22 年 12 月 10 日、岐阜薬科大学大学院講義室) (Lecture)
 - ◆ 石田秀治: 糖鎖の機能を利用する: 薬物送達への応用. アグロサイエンスカフェーあんな研究、こんな技術①. (平成 22 年 12 月 7 日、愛知県産業労働センター ウィンクあいち) (Lecture)
 - ◆ Tamai, H., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: A first total synthesis of neurogenic ganglioside LLG-3 from starfish *linckia laevis*. Association of Pacific Rim Universities (APRU) Research Symposium on the Interface between Molecular Biology and Nano-biology, 京都大学 芝蘭会館 (京都)、平成 22 年 11 月 24-26 日 (ポスター).
 - ◆ Iwayama, Y., Ando, H., Ishida, H. and Kiso, M.: Synthetic study on novel

- bioactive ganglioside HPG-7. 2nd iCeMS Retreat, 淡路夢舞台 (兵庫), 平成 22 年 10 月 1-2 日 (ポスター).
- ◆ 岩山祐己, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: トラフナマコ由来生理活性ガングリオシド HPG-7 の合成研究、P-18, 第 8 回糖鎖科学名古屋拠点「若手の力」フォーラム, 名古屋大学 (愛知県名古屋市), 平成 22 年 9 月 6 日 (ポスター).
 - ◆ 中島慎也, 藤川紘樹, 河村奈緒子, 斎藤里紗, 小西美紅, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: ガングリオシド合成に有用なグルコシルセラミド受容体の開発研究、第 8 回糖鎖科学名古屋拠点「若手の力」フォーラム, 名古屋大学 (愛知県名古屋市), 平成 22 年 9 月 6 日 (ポスター).
 - ◆ 玉井秀樹, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 特異な修飾シアル酸二量体を有するガングリオシド LLG-3 の全合成、第 8 回糖鎖科学名古屋拠点「若手の力」フォーラム, 名古屋大学 (愛知県名古屋市), 平成 22 年 9 月 6 日 (ポスター).
 - ◆ Ishida, H.: Design, synthesis and biological evaluation of novel sialosides as potent and selective inhibitors for siglecs. Freie Universität Berlin, August 27, 2010 (Lecture).
 - ◆ Kiso, M., Ishida, H. and Ando, H.: Novel gangliosides synthesis toward applications in medicinal chemistry and cell biology. 13th International Conference on Biology and Chemistry of Sialic Acids - SialoGlyco 2010, Potsdam, Germany, August 21-26, 2010 (Keynote Speaker, 基調講演)
 - ◆ Abdu-Allah, H. H. M., Ishida, H., Watanabe, K., Tsubata, T., Completo, G., Paulson, J. C., Ando, H. and Kiso, M.: Design, synthesis and biological evaluation of novel sialosides as potent and selective inhibitors for siglecs. 13th International Conference on Biology and Chemistry of Sialic Acids - SialoGlyco 2010, Potsdam, Germany, August 21-26, 2010 (Poster).
 - ◆ Fujikawa, K., Konishi, M., Imamura, A., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: A first total synthesis of ganglioside GalNAc-GD1a by employing intramolecular glycosylation as a key step. A-0-022, 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Makuhari Messe International Convention Complex, Tokyo (Chiba), Japan, August 1-6, 2010 (Oral).
 - ◆ Nakashima, S., Fujikawa, K., Komura, N., Saito, R., Konishi, M., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: Examination of the Glc-Cer-based approaches toward Systematic Ganglioside Synthesis. A-P-111, 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Makuhari Messe International Convention Complex, Tokyo (Chiba), Japan, August 1-6, 2010 (Poster).
 - ◆ Iwayama, Y., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: Synthetic Study on Novel

- Bioactive Ganglioside HPG-7 from *H. pervicax*. A-P-109, 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Makuhari Messe International Convention Complex, Tokyo (Chiba), Japan, August 1-6, 2010 (Poster).
- ◆ Tamai, H., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: A First Total Synthesis of Ganglioside LLG-3 from Echinoderms. A-P-116, 25th International Carbohydrate Symposium (ICS2010), Makuhari Messe International Convention Complex, Tokyo (Chiba), Japan, August 1-6, 2010 (Poster).
 - ◆ 玉井秀樹, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 部分修飾シアル酸二量体を有するヒト由来ガングリオシドLLG-3の全合成. 第45回天然物化学談話会, 三谷温泉ホテル明山荘 (愛知県蒲郡市), 平成22年7月6日-8日 (ポスター)
 - ◆ 岩山祐己, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真: 棘皮動物由来生理活性ガングリオシドHLG-2の全合成. 第45回天然物化学談話会, 三谷温泉ホテル明山荘 (愛知県蒲郡市), 平成22年7月6日-8日 (ポスター)
 - ◆ 黒木友昭, 青木則子, 駿河幸男, 松下格司, 魚住公治, 有馬直道. 多関節痛で発症し、PR3-ANCA陽性であった後腹膜繊維症の1例. 第54回日本リウマチ学会総会 2010年4月23日、神戸
 - ◆ Kobune H, Suzuki S, Uozumi K, White Y, Yoshimitsu M, Kozako K, Arima N. Induction of cell death in adult T-cell leukemia cell lines by survivin-responsive conditionally replicating adenoviruses. The 15th Congress of Europe Hematology Association, June 11, 2010, Barcelona, Spain
 - ◆ 濱崎隆之, 外山政明, 有馬直道, 橋本祐一, 馬場昌範. 抗ATL作用を有する新規化合物の活性と作用機序解析. 第2回HTLV-1研究会・合同班会議, 2009年8月29日, 東京.
 - ◆ 伊東祐二, 杉村和久, 鳥飼正治, 中島敏博, 隅田泰生, 有馬直道, 馬場昌範. 抗体フェージライブラリから得られたHLA-DR特異的な低分子抗体によるHTLV-1感染細胞への効果的な細胞死誘導. 第2回HTLV-1研究会・合同班会議, 2009年8月30日, 東京.
 - ◆ Kawada H, Inoue H, Nakamura D, Hayashida M, Yoshimitsu M, Hamada H, Uozumi K, Arima N. Reduced intensity allogeneic transplant for MDS overt leukemia or dependent blood transplantation. 第72回日本血液学会学術集会 2010, 9月24日、横浜
 - ◆ Inoue H, Uozumi K, Kawada H, Yahashida M, Nakamura D, Hamada H, Suzuki S, Matsushita K, Arima N. The effective treatment of 2CdA and Imatinib for mastocytosis carrying a SNP of PDGF-R α . 第72回日本血液学会学術集会 2010, 9月25日、横浜
 - ◆ Nakamura D, Suzuki S, Hayashida M, Kawada H, Inoue H, Hamada H, Matsushita K, Tanabe H, Nakabeppu Y, Uozumi K, Arima N. Experience of Radioimmunotherapy with 90Y-Ibritumomab tiuxetan in our institution. 第7

- 2回日本血液学会学術集会 2010, 9月25日、横浜
- ◆ Hayashida M, Kawada H, Nakamura D, Inoue H, Arima T, Higashi Y, Kanekkura T, Uozumi M, Arima N. Subcutaneous panniculitis T-cell lymphoma (SPTCL) – When should we judge it and begin chemotherapy? 第72回日本血液学会学術集会 2010, 9月26日、横浜
 - ◆ 海江田智恵、林田真衣子、藤野聡司、中村大輔、井上大栄、川田英明、濱田平一郎、鈴木伸介、魚住公治、有馬直道。ボルテゾミブが著効し救命し得た二次性形質細胞性白血病の1例。第291回日本内科学会九州地方会 2010年11月14日、鹿児島
 - ◆ 藤野聡司、中村大輔、川田英明、井上大栄、濱田平一郎、魚住公治、有馬直道 化学療法後に血小板減少も改善したITP合併びまん性大細胞型リンパ腫の1例。第291回日本内科学会九州地方会 2010年11月14日、鹿児島
 - ◆ Baba M, Salim M, Okamoto M, Aoyama H, Hasjomoto Y, Takebe Y, Paeshuyse J, Neyts J. γ -Carboline derivatives as potent and selective inhibitors of bovine viral diarrhoea virus (BVDV) replication. *23th International Conference on Antiviral Research*, April 26, 2010, San Francisco, USA.
 - ◆ 青山洋史、中村政彦、青山 惇、Mohammed TA Salim, 濱崎隆之、岡本実佳、馬場昌範、橋本祐一。複素環構造を有する新規抗C型肝炎ウイルス(HCV)剤の創製。第20回抗ウイルス療法研究会, 2010年5月20日、熊本.
 - ◆ Mohammed TA Salim, Takayuki Hamasaki, Mika Okamoto, Hiroshi Aoyama, Yuichi Hashimoto, Jan Paeshuyse, Johan Neyts, Masanori Baba. Highly potent and selective inhibition of bovine viral diarrhoea virus replication by γ -carboline derivatives. 第20回抗ウイルス療法研究会, 2010年5月21日、熊本.
 - ◆ 張 旭, 馬場昌範, 有馬直道, 岡本実佳, 若尾雅広, 隅田泰生. アレイ型シュガーチップを用いたウイルスの糖鎖結合性の探索. 第58回日本ウイルス学会学術集会, 2010年11月9日、徳島.
 - ◆ Okamoto M., Chono H., Baba M. Transduction of CD4+ T lymphocytes by the retroviral vector expressing an Escherichia coli endoribonuclease MazF induces cellular resistance to HIV-1 replication. XVIII International AIDS Conference July 2010, Vienna.
 - ◆ 岡本実佳, 蝶野英人, 津田大嗣, 井上晃一, 峰野純一, 馬場昌範. HIV-1感染RNA分解酵素 MazF 導入リンパ球の長期継代培養の解析. 第24回日本エイズ学会 2010年11月(東京)
 - ◆ 梶川浩太郎 「非線形プラズモニクス」、第58回応用物理学関連連合講演会(神奈川県工科大学)、24p-BG-8、2011.3.24-3.27 (招待講演)
 - ◆ 長井悠佑、山口達也、梶川浩太郎 「表面増強偏光ラマンスペクトルによる金ナノ粒子への分子吸着構造の評価」、第58回応用物理学関連連合講演会(神奈川

- 工科大学)、25 p-BH-12、2011.3.24-3.27
- ◆ 山口達也、梶川浩太郎 「金ナノ粒子を使ったプラズモニク構造の温度依存性」、第58回応用物理学関連連合講演会(神奈川県工科大学)、25a-BH-3、2011.3.24-3.27
 - ◆ 田中大輔、倉石央騎、下条雅幸、梶川浩太郎 「PDA ナノ結晶の光・電子線リソグラフィ」、第58回応用物理学関連連合講演会(神奈川県工科大学)、24p-KH-7、2011.3.24-3.27
 - ◆ 福場伸哉、梶川浩太郎 「マイクロコンタクトプリンティングを使った蛋白質マクロアレイの作製」、第58回応用物理学関連連合講演会(神奈川県工科大学)、25a-BV-22、2011.3.24-3.27
 - ◆ 梶川浩太郎 「表面プラズモンバイオセンシング」、2011年電子情報通信学会総合大会(東京都市大学)、CI-1-8、2011.3.14-17(依頼講演)
 - ◆ 梶川浩太郎 「表面プラズモンを使った輻射増強」、研究会 有機発光デバイスの発光の増強方法を開拓するII(京都工芸繊維大学)、2011.3.7(招待講演)
 - ◆ テイエンタインファン、大石健太、梶川浩太郎 「MIM構造中の表面プラズモン共鳴による液晶光双安定素子」、第71回応用物理学学会学術講演会(長崎大学)、15a-M-5、2010.9.14-17
 - ◆ 山口達也、梶川浩太郎 「金基板上の金ナノ微粒子構造からの2光子励起光発光イメージング」、第71回応用物理学学会学術講演会(長崎大学)、16p-NK-9、2010.9.14-17
 - ◆ 倉石央騎、田中大輔、下条雅幸、梶川浩太郎 「表面プラズモン共鳴を利用したPDA ナノ結晶の Kerr 効果の測定」、第71回応用物理学学会学術講演会(長崎大学)、14a-ZF-6、2010.9.14-17
 - ◆ 梶川浩太郎 「光ファイバを使った局在プラズモンバイオセンシング」、第61回東工大精密工学研究所シンポジウム(東京工業大学蔵前会館)、2010.7.22(招待講演)
 - ◆ 梶川浩太郎 「プラズモニクスに関する最近の話題」、プラズモニクス研究会(島津製作所東京支店イベントホール)、2010.5.26
 - ◆ 山口達也、梶川浩太郎 「金ナノ微粒子表面に修飾する自己組織化単分子膜の被覆課程の調査、プラズモニクス研究会(島津製作所東京支店イベントホール)、2010.5.26
 - ◆ Tamai T, Uto H, Takami Y, Kumagai K, Kure T, Mawatari S, Moriuchi A, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H: Clinical significance of serum MnSOD levels in patients with hepatitis C virus (HCV)-related chronic liver disease. The 7th Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) Single Topic Conference. 千葉市, 2010年12月.
 - ◆ Hiramane Y, Uto H, Imamura Y, Tamai T, Baba Y, Hiwaki T, Sho Y, Tahara N, Ido A, Tsubouchi H: A comparative study of sorafenib and hepatic arterial infusion chemotherapy for unresectable advanced hepatocellu-

- lar. The 7th APASL Single Topic Conference. 千葉市, 2010年12月.
- ◆ Kumagai K, Ido A, Takami Y, Sasaki F, Kure K, Tamai T, Moriuchi A, Uto H, Oketani M, Tsubouchi H: Association of a genetic polymorphism in osteoactivin with hepatitis C virus infection in a hyperendemic area of Japan. The 7th APASL Single Topic Conference. 千葉市, 2010年12月.
 - ◆ 佐藤悠子, 宇都浩文, 高見陽一郎, 佐々木文郷, 熊谷公太郎, 最勝寺晶子, 小田耕平, 呉建, 馬渡誠一, 玉井努, 森内昭博, 桶谷眞, 井戸章雄, 中島知明, 岡上武, 坪内博仁: ALTが正常を維持するC型肝炎ウイルス持続感染者の血清プロテオミクス. 日本ヒトプロテオーム機構第8回大会. 浦安市, 2010年7月.
 - ◆ 熊谷公太郎, 桶谷眞, 小田耕平, 最勝寺晶子, 橋口正史, 馬渡誠一, 呉建, 玉井努, 森内昭博, 宇都博文, 桶谷眞, 井戸章雄, 坪内博仁: de novoB型肝炎における劇症化の病態と対策. 第96回日本消化器病学会九州支部例会. 宜野湾市, 2010年11月.
 - ◆ 梶一晃, 熊谷公太郎, 井戸章雄, 最勝寺晶子, 橋口正史, 馬渡誠一, 呉建, 玉井努, 森内昭博, 宇都浩文, 桶谷眞, 田原憲治, 堀剛, 藤崎邦夫, 黒木和男, 重信秀峰, 小森園康二, 岩満章浩, 坪内博仁: B型慢性肝疾患ナイーブ例に対するラミブジン投与例とエンテカビル投与例の比較検討. 第46回日本肝臓学会総会. 山形市, 2010年5月.
 - ◆ 井之上寿美, 丸山慎介, 江口太助, 西順一郎, 益田君教, 立元千帆, 石川珠代, 山元公恵, 鮫島幸二, 池田琢哉. 皮下気腫を伴ったパンデミックインフルエンザH1N1肺炎の女児例. 第15回鹿児島小児感染症研究会 鹿児島 2010.9.17
 - ◆ Xu Zang, Sachiko Nakamura Tsuruta, Mami Haruyama, Risa Yokoyama, Mami Nagatomo, Masahiro Wakao, Kazuhiko Nakajima, Kazue Aoyama, Toshiomi Okuno, Saeko Morikawa, Satoshi Hiroi, Tetsuo Kase, Hirohisa Nose, Jun-ichiro Nishi, Mika Okamoto, Masanori Baba, Yasuo Suda Super high sensitive detection of viruses using sugar-chain immobilized gold nanoparticles (SGNPs) 243rd American Chemical Society National Meeting & Exposition, March 25-29, 2012, Sandiego California 発表日3月27日 (oral session POLY 154)
 - ◆ 新地浩之, 坂本雅弥, 永田野々香, 若尾雅広, 望月衛子, 上松太郎, 桑畑進, 隅田泰生 糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子の細胞結合性 日本化学会第92春季年会 (2012), 平成24年3月25日-28日 慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャンパス, 神奈川県横浜市 発表日3月26日 (口頭 2D3-12)
 - ◆ 若尾雅広, 永田野々香, 新地浩之, 坂本雅弥, 望月衛子, 上松太郎, 桑畑進, 隅田泰生 糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子の毒性評価 日本化学会第92春季年会 (2012), 平成24年3月25日-28日 慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャンパス, 神奈川県横浜市 発表日3月26日 (口頭 2D3-13)

- ◆ 杜若祐平, 若尾雅広, 隅田泰生
 デルマトン硫酸部分二糖構造の合成とシ
 ユガーチップ化 日本化学会第 92 春季年
 会 (2012), 平成 24 年 3 月 25 日- 28 日
 慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャン
 パス, 神奈川県横浜市
 発表日 3 月 26 日 (口頭 2D3-17)
- ◆ Ayaka Sato, Kenji Iwakiri, Mami
 kijiyama, Chieri Maehara, Masahiro
 Wakao, Naomichi Arima, Yuji Ito, Yasuo
Suda Development of single chain
 Fv antibody (scFv) which recognizes
 sugar-chains on ATL cell surface for
 targeted therapy Japan-Taiwan
 Bilateral Workshop on Nano-Science
 2011, 2011 年 11 月 21-22 日
 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem. Eng.,
 National Cheng Kung University, Taiwan
 発表日 11 月 21 日 (ポスター P-53,
 abstract p. 90)
- ◆ Yukiko Ichiki, Chiho Sakami, Yuhei
 Kakitsubata, Masahiro Wakao, Yasuo Suda
 Synthetic Study on Chondroitin Sulfate
 Tetrasaccharide Partial Structure
 Japan-Taiwan Bilateral Workshop on
 Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22
 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem.
 Eng., National Cheng Kung University,
 Taiwan 発表日 11 月 21 日 (ポスター
 P-52, abstract p. 89)
- ◆ H. Shinchi, S. Nakagawa, M. Sakamoto,
 N. Nagata, M. Wakao, E. Mochiduki,
 T. Uematsu, S. Kuwabata, Y. Suda
 Preparation and application of
 sugar-chain immobilized fluorescence
 nanoparticles containing
 ZnS-AgInS₂/ZnS core/shell structure
 Japan-Taiwan Bilateral Workshop on
 Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22
 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem.
 Eng., National Cheng Kung University,
 Taiwan 発表日 11 月 21 日/22 日 (ポス
 ター P-51/口頭 selected students,
 abstract p. 88)
- ◆ Yuhei Kakitsubata, Yukiko Ichiki,
 Masahiro Wakao, Yasuo Suda
 Synthetic study on dermatan sulfate
 disaccharide partial structure
 Japan-Taiwan Bilateral Workshop on
 Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22
 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem. Eng.,
 National Cheng Kung University, Taiwan
 発表日 11 月 21 日/22 日 (ポスター P-50
 /口頭 selected students, abstract
 p. 87)
- ◆ Keiko Ono, Hiroyuki Kariya, Kazuki
 Tawaratsumida, Yasuo Suda, Masahito
 Hashimoto, Expression on
Staphylococcus aureus lipoproteins in
 various conditions
 Japan-Taiwan Bilateral Workshop on
 Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22
 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem.
 Eng., National Cheng Kung University,
 Taiwan 発表日 11 月 21 日 (ポスター
 P-49, abstract p. 86)
- ◆ Yasuo Suda Screening of single chain
 antibodies using sugar-chip immobilized
 with N-glycans from leukemia cells
 Japan-Taiwan Bilateral Workshop on

- Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem. Eng., National Cheng Kung University, Taiwan 発表日 11 月 22 日 (口頭 0-29, abstract p. 38)
- ◆ Hiroyuki Kariya, Mami Nagatomo, Masahiro Wakao, Masahito Hashimoto, Yasuo Suda, Application of sugar-chain immobilized nano-particles to develop antibodies for viral protein, Japan-Taiwan Bilateral Workshop on Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem. Eng., National Cheng Kung University, Taiwan 発表日 11 月 22 日 (口頭 0-25, abstract p. 34)
 - ◆ Masahiro Wakao, Yasuo Suda, Construction of Heparan Sulfate Disaccharide Library Japan-Taiwan Bilateral Workshop on Nano-Science 2011, 2011 年 11 月 21-22 日 Wah-Lee Hall, B1, Dept. of Chem. Eng., National Cheng Kung University, Taiwan 発表日 11 月 22 日 (口頭 0-20, abstract p. 29)
 - ◆ 隅田泰生 糖鎖に基づくバイオナノテクノロジー 平成 23 年度鹿児島大学大学院連合農学研究科農学特別講義 I (一般セミナー), セミナーD 平成 23 年 11 月 7-9 日, ジェイドガーデンパレス 講演日 11 月 9 日 (講師)
 - ◆ 張旭, 篠田 直, 芦田延久, 鷺谷敦廣, 弘田辰彦, 山本直之, 横山理沙, 永友真未, 隅田泰生 糖鎖固定化金ナノ粒子を用いたインフルエンザウイルスの高感度検出の応用 (An application of high sensitive detection of Influenza virus using sugar-chain immobilized gold nano-particles) 第 84 回日本生化学会大会, 平成 23 年 9 月 21 日-24 日 国立京都国際会館, 京都府京都市 発表日 9 月 24 日 (ポスター 4P-0599, 予稿集 p. 218)
 - ◆ 橋本雅仁, 谷下洋平, 隅田泰生, 村上英一, 永田真紀, 丸町健一, 阿部美紀子, 内海俊樹 一酸化窒素誘導に関与する根粒菌リポ多糖由来リピド A の解析 第 84 回日本生化学会大会, 平成 23 年 9 月 21 日-24 日 国立京都国際会館, 京都府京都市 発表日 9 月 23 日 (ポスター 3P-0014, 予稿集 p. 154・口頭 3T8a-18, 予稿集 p. 97)
 - ◆ 仮屋博敬, 張旭, 横山理沙, 永友真未, 若尾雅広, 橋本雅仁, 隅田泰生 Application of sugar-chain immobilized nano-particles for developing viral vaccine (ウイルスワクチン開発への糖鎖固定化ナノ粒子の応用) 第 84 回日本生化学会大会, 平成 23 年 9 月 21 日-24 日 国立京都国際会館, 京都府京都市 発表日 9 月 23 日 (ポスター 3P-0495, 予稿集 p. 180・口頭 3T15p-15, 予稿集 p. 107)
 - ◆ 新地浩之, 中川奨, 永田野々香, 坂本雅弥, 若尾雅広, 望月衛子, 上松太郎, 桑畑進, 隅田泰生 糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子を用いた相互作用解析と生物学的評価 第 84 回日本生化学会大会, 平成 23 年 9 月 21 日-24 日 国立京都国際会館, 京都府京都市 発表日 9 月 23 日 (ポスター 3P-0496, 予稿集 p. 180・口頭 3T15p-16,

- 予稿集 p.107)
- ◆ 春山まみ, 若尾雅広, 隅田泰生
 イズロン酸を含むヘパラン硫酸部分二糖
 構造ライブラリーの構築
 第 30 回日本糖質学会年会, 平成 23 年 7
 月 11- 13 日 長岡リリックホール, ハイ
 ブ長岡, 新潟県長岡市 発表日 7 月 12 日
 (ポスターP-155, 予稿集 p. 150)
 - ◆ 張旭, 小林健一郎, 的山央人, 兵藤則行,
 若尾雅広, 隅田泰生
 糖鎖固定化金ナノ粒子を用いた鯉ヘルペ
 スウイルスの高感度検出
 High sensitive detection of KOI herpe
 s virus (KHV) using sugarchainimmobi
 -lized goldnano-particles
 第 30 回日本糖質学会年会, 平成 23 年 7
 月 11- 13 日 長岡リリックホール, ハイ
 ブ長岡, 新潟県長岡市 発表日 7 月 13 日
 (ポスターP-154, 予稿集 p. 149)
 - ◆ 新地浩之, 中川奨, 望月衛子, 桑畑進, 若
 尾雅広, 隅田泰生
 CdTe/CdS コア/シェル QD を用いた糖鎖
 固定化蛍光性ナノ粒子の合成と応用
 第 30 回日本糖質学会年会, 平成 23 年 7
 月 11- 13 日
 長岡リリックホール, ハイブ長岡, 新潟県
 長岡市 発表日 7 月 12 日 (ポスターP-153,
 予稿集 p. 149)
 - ◆ 杜若祐平, 市来幸子, 若尾雅広, 隅田泰生
 デルマタン硫酸-E 二糖部分構造に関する
 合成研究 第 30 回日本糖質学会年会, 平
 成 23 年 7 月 11- 13 日 長岡リリックホー
 ル, ハイブ長岡, 新潟県長岡市 発表日 7
 月 13 日 (ポスターP-156, 予稿集 p. 150)
 - ◆ 若尾雅広, 齋藤彰寛, 春山まみ, 大石紘,
 松山奈央, 出口弘史, 馬渡彩, 隅田泰生
 ヘパラン硫酸部分構造ライブラリーの構
 築に向けた二糖ビルディングブロックの
 合成研究 第 30 回日本糖質学会年会,
 平成 23 年 7 月 11- 13 日 長岡リリックホ
 ール, ハイブ長岡, 新潟県長岡市 発表日
 7 月 13 日 (口頭 B4-01, 予稿集 p. 56)
 - ◆ 隅田泰生 「糖鎖とナノバイオテクノロジー
 ーに基づくウイルス高感度検出法の開発
 (Development of high sensitive
 diagnostic method of viruses based on
 nano-glycobiotechnology)」
 第 30 回日本糖質学会年会, シンポジウム
 2: 糖鎖機能解明のブレークスルーを求め
 て 平成 23 年 7 月 11- 13 日, 長岡リリッ
 クホール, ハイブ長岡, 新潟県長岡市
 発表日 7 月 13 日 (招待講演)
 - ◆ 隅田泰生 糖を使ったナノテクでウイル
 スを測る 4/17 Science Cafe in Ooita 特
 別版, 平成 23 年 4 月 17 日 大分文化会館
 2F 502 会議室, 大分県大分市 招待講演,
 独立行政法人 科学技術振興機構 JST
 イノベーションサテライト宮崎 主催
 - ◆ Xu Zang, Sachiko Nakamura Tsuruta, Mami
 Haruyama, Risa Yokoyama, Mami
 Nagatomo, Masahiro Wakao, Kazuhiro
Nakajima, Kazue Aoyama, Toshiomi
Okuno, Saeko Morikawa, Satoshi
 Hiroi, Tetso Kase, Hirohisa Nose,
Junichi Nishi, Mika Okamoto, Masanori
Baba, Yasuo Suda
 Super high sensitive detection of
 viruses using sugar-chain immobilized
 gold nanoparticles (SGNPs)
 ACS National Meeting & Expo, San Diego

Spring 2012 アメリカ合衆国 (米国)

- ◆ 石田秀治, 今村彰宏, 安藤弘宗, 結城伸泰, 山口芳樹, 木曾真: 糖鎖の精密合成と自己免疫疾患. 第30回日本糖質学会年会 シンポジウム2: 糖鎖機能解明のブレークスルーを求めて、長岡リリックホールとハイブ長岡 (新潟), 平成23年7月11日~13日 (招待講演).
- ◆ Ishida, H.: First total synthesis of lipooligosaccharide (LOS) of *Campylobacter jejuni*. Claude S. Hudson Award Symposium in Carbohydrate Chemistry Symposium in honor of Professor Richard Schmidt at ACS National Meeting, Anaheim CA, USA., March 27-31, 2011 (Invited lecture).
- ◆ 岩山祐己, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「トラフナマコ由来生理活性ガングリオシド HPG-7 の全合成研究」 B1-02, 第30回日本糖質学会, 長岡リリックホールとハイブ長岡 (新潟), 平成23年7月11日~13日 (Oral).
- ◆ 小西美紅, 藤川紘樹, 中島慎也, 河村奈緒子, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「新規環状グルコシルセラミド受容体を用いたガングリオシド GalNAc-GM1b の全合成研究」2A37p05, 2011年度大会 日本農芸化学会、京都、平成23年3月25日-28日 (Oral).
- ◆ 山本直輝, 田中秀則, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「分子イメージングへ向けたシアリルルイス X プローブの合成研究」3A37a15, 2011年度大会 日本農芸化学会、京都、平成23年3月25日-28日 (Oral).
- ◆ 水野孝星, 玉井秀樹, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「棘皮動物由来ガングリオシド CJP-2 の合成研究」2A37p04, 2011年度大会 日本農芸化学会、京都、平成23年3月25日-28日 (Oral).
- ◆ 小西美紅, 藤川紘樹, 中島慎也, 河村奈緒子, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「新規環状グルコシルセラミド受容体を用いたガングリオシド GalNAc-GM1b の全合成」第9回糖鎖科学名古屋拠点「若手の力」フォーラム、河合塾岐阜校 71 教室、平成23年10月22日 (Poster)
- ◆ 中島慎也, 安藤弘宗, 今村彰宏, 石田秀治, 結城伸泰, 木曾真: ALS 様疾患に関連するハイブリッド型ガングリオシドの効率的な全合成研究. 第9回糖鎖科学名古屋拠点「若手の力」フォーラム、河合塾岐阜校 71 教室、平成23年10月22日 (Poster)
- ◆ 中島慎也, 安藤弘宗, 今村彰宏, 結城伸泰, 石田秀治, 木曾真: An efficient total synthesis of hybrid-type ganglioside associated with amyotrophic lateral sclerosis-like disorder. 第31回内藤コンファレンス、シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ (北海道)、平成23年9月13-16日 (poster)
- ◆ 小西美紅, 藤川紘樹, 中島慎也, 河村奈緒子, 安藤弘宗, 石田秀治, 木曾真「環状グルコシルセラミド受容体を用いたガングリオシド GalNAc-GM1b の全合成」P-128, 第30回日本糖質学会, 長岡リリックホールとハイブ長岡 (新潟), 平成23年7月11日~13日 (poster).
- ◆ Konishi, M., Fujikawa, K., Ando, H., Ishida, H., Kiso, M.: The first total

- synthesis of ganglioside GalNAc-GM1b using a novel cyclic Glc-Cer acceptor. 16th European Carbohydrate Symposium. July 3-7, 2011, Sorrento-Naples, Italy (poster)
- ◆ Kozako T, Arima N et al. Overexpression of SIRT1 and induction of apoptosis by its inhibition in adult T cell leukemia cells. 15th International Conference of Human Retrovirology; HTLV, Leuven, Belgium, 2011, June 5.
 - ◆ Mohammed TA Salim, Hiroshi Aoyama, Kazuyuki Sugita, Kou-ichi Watashi, Mika Okamoto, Yuichi Hashimoto, Masanori Baba. Discovery of novel phenanthridinone derivatives as selective inhibitors of HCV replication. 第21回抗ウイルス療法研究会, 2011年5月29日, 金沢.
 - ◆ 岡本実佳, 張 旭, 瀧崎隆之, 隅田泰生, 馬場昌範「糖固定化金ナノ粒子技術を用いた HIV-1 感染症新規予防法および早期診断法の開発」第21回抗ウイルス療法研究会, 2011年5月30日, 金沢.
 - ◆ Okamoto M, Zhang X, Hamasaki T, Nishi Y, Suda Y, Baba M. The binding specificity of HIV-1 to sugar-chains and the concentration of HIV-1 using heparin-immobilized gold nanoparticles toward the discovery of anti-HIV-1 effects of sugar-chains and a super high sensitive diagnosis. *15th International Congress of Virology*, September 15, 2011, Sapporo, Japan.
 - ◆ Salim MTA, Aoyama H, Sugita K, Watashi K, Okamoto M, Hashimoto Y, Baba M. Discovery of novel phenanthridinone derivatives as selective inhibitors of HCV replication. *15th International Congress of Virology*, September 15, 2011, Sapporo, Japan.
 - ◆ 岡本実佳, 張 旭, 瀧崎隆之, 外山政明, 隅田泰生, 馬場昌範「糖鎖固定化金ナノ粒子を用いた HIV-1 感染症新規予防法および早期診断法の開発」第25回日本エイズ学会学術集会, 2011年12月1日, 東京.
 - ◆ 田中大輔, 梶川浩太郎 「表面プラズモン共鳴を利用したPDAナノ粒子のポッケルス効果」、2012年第59回春季応用物理学会(早稲田大学)、2012.3.15-18
 - ◆ 山口達矢, 梶川浩太郎 「異なる局在プラズモン共鳴状態を持つ金ナノ粒子の2光子励起発光」、2012年第59回春季応用物理学会(早稲田大学)、2012.3.15-18
 - ◆ 梶川浩太郎 「表面プラズモンのライフ分野への応用」、研究会「グリーン&ライフイノベーションに向けた次世代ナノ材料・デバイス」(産業技術総合研究所臨海副都心センター・東京)、2012.1.16(招待講演)
 - ◆ 田中大輔・梶川浩太郎 「PDAコア Au シェル構造のプラズモン共鳴特性 (Plasmon resonance property of PDA core Au shell structure)」、第9回プラズモニクスシンポジウム(九州大学・福岡)、2012.1.23-24.
 - ◆ 梶川浩太郎 「表面プラズモンのバイオセンシング分野への応用」、第1回電子光技術シンポジウム「電子光技術が拓く未来の可能性」- 安全・安心で持続的な社会の実

現に向けてー（産業技術総合研究所臨海副都心センター・東京）、2012.2.22（招待講演）

- ◆ 梶川浩太郎 「表面プラズモンのバイオ分野への応用」、次世代ナノ技術に関する時限研究専門委員会 第3回研究会、材料デバイスサマーミーティング2011（機械振興会館・東京）、2011.6.30（招待講演）
- ◆ 中嶋一彦 ウイルス濃縮と超高速PCRを用いたノロウイルスの高感度、迅速検出と院内感染対策への応用、第27回日本環境感染学会総会 福岡 2012.2.2-3
- ◆ 西 順一郎, 張 旭, 河野嘉文, 隅田泰生. 糖鎖固定化金ナノ粒子（SGNP）RT-qPCR法による患者唾液中のインフルエンザウイルス遺伝子の検出. 第44回日本小児呼吸器疾患学会 宇都宮 2011.10.15-16
- ◆ 西 順一郎, 川村英樹, 折田美千代 「糖鎖固定化金ナノ粒子（SGNP）RT-qPCR法による唾液中のインフルエンザウイルス遺伝子の検出ー入院患者と病院職員における検討ー」 第27回日本環境感染学会総会 福岡 2012.2.2-3

3. 知的財産権の出願・登録状況

- ◆ 隅田泰生, 若尾雅広, 「糖鎖固定化磁性金属ナノ粒子の製造方法」、特願2009-175001、出願日：2009年7月28日
- ◆ 隅田泰生, 若尾雅広, 児玉崇, 「ウイルス濃縮方法および磁性体組成物」、特願2010-45753、出願日：2010年3月2日
- ◆ 若尾雅広, 隅田泰生 「糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子、およびその製造方法」、特願2010-53040、出願日：2010年3月10日

- ◆ 隅田泰生, 荒野明男, 楠本正一, 「リンカー化合物およびリガンド並びにオリゴ糖鎖の固定化方法および蛋白質分析用の支持体」、登録番号4364853、登録日：2009年8月25日
- ◆ 隅田泰生, 荒野明男, 楠本正一, マイケルソベール, 「多岐用途型リンカー化合物及びリガンド、並びにそれらの製造方法」、登録番号4430344、登録日：2009年12月25日
- ◆ 隅田泰生, 荒野明男, 楠本正一, マイケルソベール, 「多岐用途型リンカー化合物及びリガンド、並びにそれらの製造方法」、中国ZL03821302.8、登録日：2009年8月6日
- ◆ 隅田泰生, 荒野明男, 楠本正一, ソベール マイケル, 若尾雅広, 「リンカー化合物及びリガンド複合体、並びにそれらの製造方法」、登録番号4628960（2010/11/19）
- ◆ 若尾雅広, 隅田泰生, 「糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子、及びその製造方法」、特願2010-53040（2010/3/10）、出願人：国立大学法人鹿児島大学、株式会社スティックスバイオテック
- ◆ 若尾雅広, 隅田泰生, 児玉崇, 「ウイルスの濃縮方法および磁性体組成物」、特願2010-045753（2010/3/2）、出願人：国立大学法人鹿児島大学、株式会社スティックスバイオテック、株式会社ニート
- ◆ 有馬直道 発明の名称：サービピンプロモーターを含む増殖制御型ウイルスベクターによる造血器腫瘍の遺伝子治療特許願2010-070942 2010年3月25日
- ◆ 梶川浩太郎, 榎本 靖, 松村康史, 新田

- 龍三 「金属微粒子複合体及びその製造方法」出願人：国立大学法人東京工業大学・新日鐵化学株式会社、特許願 2010-123225 2010年5月28日
- ◆ 隅田泰生、「糖鎖リガンド複合体、およびそのリガンド複合体を用いたタンパク質の分析方法」、中国 ZL 2005800005186.9 (2010/6/9)
 - ◆ 隅田泰生、西村知晃、岸本裕子、中川裕美、「新規糖固定化金属ナノ粒子およびこれを用いて糖-タンパク質相互作用を測定する方法、並びに糖-タンパク質相互作用体からタンパク質を回収する方法」、EPC 1909104 (2010/7/21)
 - ◆ 隅田泰生、荒野明男、楠本正一、マイケルソベール、若尾雅広、「リンカー化合物およびリガンド複合体、並びにそれらの製造方法」、EPC 1731517 (2010/11/17)
 - ◆ 隅田泰生、荒野明男、楠本正一、マイケルソベール、若尾雅広、「リンカー化合物およびリガンド複合体、並びにそれらの製造方法」、アメリカ 7,838,549 (2010/11/23)
 - ◆ 隅田泰生、荒野明男、楠本正一、マイケルソベール、「リンカー化合物及びリガンド、並びにそれらの製造方法」、カナダ 2,500,190 (2011/1/4)
 - ◆ 仮屋博敬、隅田泰生「硫酸化糖鎖固定化金ナノ粒子及びデキストラン硫酸固定化金ナノ粒子によるウイルスの捕捉方法、分画方法、免疫方法、抗ウイルス抗体製造方法」、特願 2012-020849 (2012/2/2)、出願人：国立大学法人鹿児島大学、株式会社スディックスバイオテック
 - ◆ 隅田泰生、馬場昌範、岡本実佳 HIV-1の低侵襲的な簡便かつ高感度検査法」、台湾出願 101107378 (2012/3/5)、出願人：世錡生命科學有限公司
 - ◆ 有馬直道「シソ科植物ヒプテイス・ヴェルチシラータ (*Hyptis verticillata*) 由来の抗腫瘍剤およびその製造方法」番号；特願 2011-114629 出願年月日；平成 23年5月23日 国内
4. その他（研究に関する新聞記事等）
- ◆ 2009年6月30日、新聞報道、南日本新聞、記事題目：インフルエンザ 超感度の検出法開発
 - ◆ 2009年7月1日、新聞報道、日本経済新聞、記事題目：インフルエンザ 超感度で検知 スディックス、診断法開発
 - ◆ 2009年10月21日、新聞報道、日本経済新聞、記事題目：インフル対策 消毒液の需要急増
 - ◆ 2009年12月1日、テレビ報道、NHK 情報 WAVEかごしま、「インフルエンザウイルス 超高感度検出法開発 鹿児島大学」で紹介。
 - ◆ 2009年12月2日、テレビ報道、NHK おはよう九州沖縄、「インフルエンザウイルス 超高感度検出法開発 鹿児島大学」で紹介。
 - ◆ 2009年12月13日、新聞報道、朝日新聞、記事題目：新型インフル発症前に判別 兵庫医大で試験運用へ ウイルス検査短縮 半日→30分
 - ◆ 2009年12月13日、インターネット報道、朝日新聞、インターネット版、記事題目：新型インフルをスピード検査 早期治療で重症化防ぐ
 - ◆ 2009年12月16日、新聞報道、朝日小学生新聞、記事題目：新型インフル 30分

で感染判断

- ◆ 2010年1月25日、新聞報道、日本経済新聞、記事題目：「新型インフル発症前に判定：鹿児島大学など検査法開発」
- ◆ 2010年1月25日、インターネット報道、産経ニュース、記事題目：「【新型インフル】発症前、微量で簡単ウイルス検出 鹿児島大など」
- ◆ 2010年1月25日、新聞報道、産経新聞、記事題目：「唾液でウイルス検出 鹿児島大学教授ら開発 新型インフル発症前に診断」
- ◆ 2010年1月25日、新聞報道、北日本新聞、記事題目：「発症前にウイルス検出 唾液から新型ウイルスで鹿大教授ら」
- ◆ 2011年9月14日、日本経済新聞、記事題目：「唾液でHIV検出 鹿児島大発ベンチャー 初期段階で発見」

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
K. Kajikawa, S. Abe, Y. Sotokawa and K. Tsuboi	Linear and Nonlinear Optical Properties of Gold Nanospheres Under Localized Surface Plasmon Resonance Condition	Katsuhiko Ariga, Hari Singh, Nalwa	Nanofabrication -Supramolecules, Self-Assemblies, and Organized Films	American Scientific Publishers	California	2009	333-352
梶川浩太郎	電子物性	単著	電子情報光学 ニューコース 8	培風館	東京	2009	1-132
Ando, H., <u>Ishida, H.</u> and Kiso, M.	Renewed synthetic approach to gangliosides exploiting versatile and powerful synthetic units	F. Minoru	Methods In Enzymology, Glycomics	Elsevier	Amsterdam, Boston, Heidelberg, London, New York, Oxford, Paris, San Diego, San Francisco, Singapore, Sydney, Tokyo	2010	522-540
<u>石田秀治</u> 木曾真	「グルコシル化を阻害するための化学的ツール」「バイオテクノロジーと医薬品産業における糖鎖」	鈴木康夫 木全弘治	コールドスプリングハーバー糖鎖生物学第2版	丸善	東京	2010	597-619
岡本隆之 <u>梶川浩太郎</u>	プラズモニクス基礎と応用		プラズモニクス基礎と応用	株式会社講談社	東京	2010	総ページ数 263

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
K. Tawaratsumida, M. Furuyashiki, M. Katsumoto, Y. Fujimoto, K. Fukase, <u>Y. Suda</u> , M. Hashimoto	Characterization of N-terminal Structure of TLR2- active ting Lipoprotein in Staphylococcus aureus	<i>J. Biol. Chem.</i>	284 (14)	9147-52	2009
S. Muraoka, Y. Ito, M. Kamimura, <u>M. Baba</u> , N. Arima, <u>Y. Suda</u> , S. Hashiguchi, M. Torikai, T. Nakashima, K. Sugimura	Effective induction of cell death on adult T-cell leukaemia cells by HLA-DR β -specific small antibody fragment isolated from human antibody phage library	<i>J. Biochem.</i>	145(6)	799-810	2009